

石川森林管理署

担当者

森林技術指導官:原田 政幸

地域林政調整官:川村 直樹

TEL:050-3160-6100

連携機関:石川県

地域課題:科学的検証に基づく効率的な海岸林の整備と技術普及

取組状況

あとかばやし

- 安宅林国有林において、植栽箇所の枯損調査、風況調査等の結果を踏まえた海岸林の整備手法(植付等)に係る現地検討会を石川県と共同で実施。かがかいがん
- 石川県内の民有林、加賀海岸国有林等の海岸林において、石川県林業試験場等が開催した「海岸林復興現地検討会」へ参加。東日本大震災により被災した海岸林の復興に向けた海岸林造成の効率化技術の開発(クロマツの低密度植栽)の取組について専門家を交えた意見交換を実施。
- 安宅林国有林の作業道作設にあたり、計画路線について県担当者と現地検討を実施。

成果と今後の課題

- 民有林、国有林の海岸林の整備手法の相違点を確認でき、それぞれのよい点を吸収し、作業仕様書へ反映。
- 現地検討会で得た研究者からの意見等に踏まえ、今後、松くい虫被害対策や海岸林整備を実施。
- 現地検討会の意見等を踏まえ、公益的機能を高度に発揮するための効率的な海岸林整備が可能となるよう、今後、国有林と隣接する民有林でも活用できる作業道を開設。

現地検討会での枯損対策・防風効果の説明の様子



海岸林復興現地検討会の様子



石川森林管理署

連携機関: 石川県・かが森林組合

地域課題: 猛禽類保護など民国連携による広域的な公益的機能の向上と効率的な森林施業との両立

取組状況

- 石川県、金沢水源林整備事務所、北陸電力送電線チーム及び石川森林管理署がそれぞれ実施している猛禽類の生息調査の計画について情報交換を実施。
- 白山周辺の国有林と隣接する私有林所有者(白山市白峰地区)及びかが森林組合と広域的な森林施業の実施に向けた意見交換を実施。

成果と今後の課題

- 関係機関が連携し、効率的・効果的に猛禽類の生息調査を実施。
- 共有化した各機関のデータをもとに、今後、私有林と猛禽類保護をはじめ公益的機能向上に配慮した森林施業を共同で検討。
- 意見交換を行った結果、白山市白峰地区では、公益重視や民国連携による施業の効率化メリットについて参加者で共有。具体的な施業箇所の検討等、今後も広域的な森林施業の実現に向け森林所有者等との意見交換会の開催等により私有林の動向を把握。

白峰地区での意見交換会の様子



石川森林管理署

連携機関: 石川県・石川県林業試験場

地域課題: 東日本大震災により被災した海岸林復興のため、効率的な植栽方法(本数等)の検証
松くい虫被害により一斉更新したクロマツ天然林の効率的な施業の実施

取組状況

- 石川県林業試験場に対し、安宅林国有林内のクロマツ人工林(5,000本/ha)を試験フィールドとして提供し、風況、生長量調査を実施。
- 石川県林業試験場に対し、加賀海岸国有林内のクロマツ天然林を試験フィールドとして提供し、密度管理や造林手法の開発について、共同で研究・調査を実施。

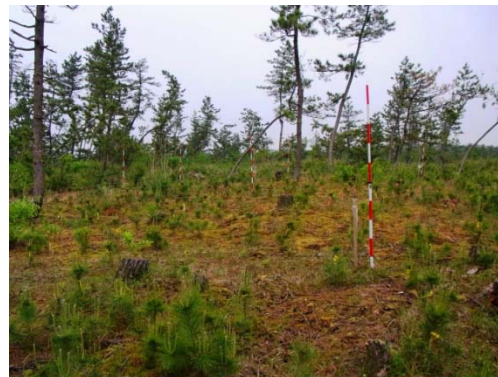
成果と今後の課題

- 安宅林国有林での調査成果を海岸林整備の現地検討会等で活用した。
- 近畿中国森林管理局主催の森林・林業交流発表会での取組発表では、県が天然更新したクロマツ林の密度管理方法について試験を行い、それらの成果をもとに署が重機を活用した密度管理試験を実施するといった地域連携がとられた課題の発表として高く評価され、林木育種センター関西育種場長賞を受賞。

クロマツの低密度植栽試験地の様子(安宅林)



試験地(疎仕立と帯仕立)の様子(加賀海岸)



石川森林管理署

連携機関: 石川県・石川県森林組合連合会

地域課題: 木材の安定供給(木質バイオマス発電)

取組状況

- 石川県森林林業振興協議会主催の「先進地等の視察研修」に参加し、スギ間伐材のC材以下を利用した木質バイオマスへの利用等について情報収集を実施。
- 石川県内における木質バイオマス発電施設等の計画について、国有林からの資材供給に係る意見交換を実施。

成果と今後の課題

- 局・署間において情報共有を実施し、バイオマスボイラー稼働計画に向けた国有林材の供給について、平成26年度生産事業予定箇所における林地残材の供給に向けた事前準備を実施。
- 今後、安定的な国有林材の供給に向け、公益的機能の発揮と資源の有効利用の両立を図りながら、間伐から複層伐等への計画変更や、民有林と連携した協調施業等を検討。

木粉製造施設の視察(富山西部森林組合)



平成26年度生産事業予定林分(六万山)



福井森林管理署

担当者

森林技術指導官:河原 正二

地域林政調整官:北本 秀一

TEL:050-3160-6105

連携機関:福井県ほか

地域課題:森林を管理している各機関が連携した森林施業の推進(共通図面の作成)

取組状況

- 福井県、ふくい農林水産支援センター、福井水源林整備事務所、森林管理署の造林地や林道等の路網を記載した共通図面(2万分の1)を作成。
- 各機関の資源量と事業計画について、データ収集を実施。

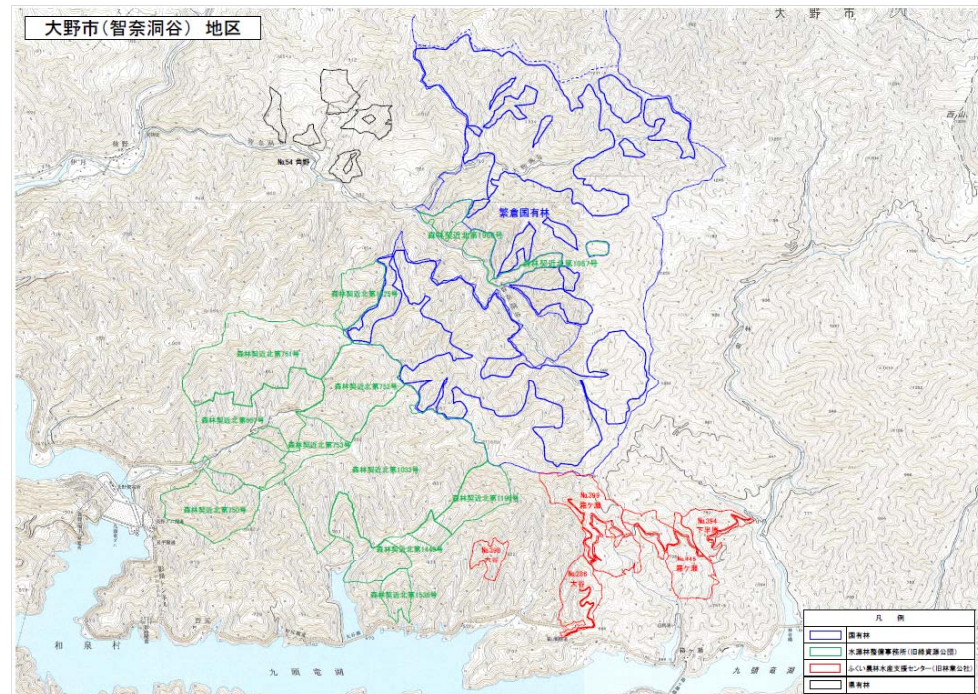
成果と今後の課題

- 共通図面をもとに、森林共同施業団地等の候補地選定等に活用。
- 共有化した図面、各種データをもとに、今後、路網整備、事業計画について検討。

共通図面を基に検討を行っている様子



作成図面の一部



福井森林管理署

連携機関: 福井県ほか

地域課題: 森林共同施業団地の設定

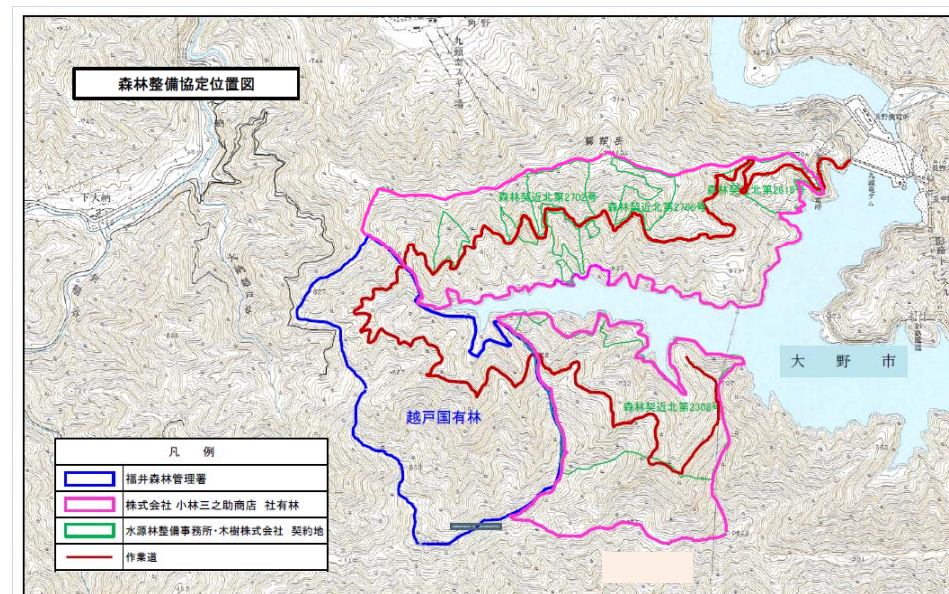
取組状況

- 南越前町鉢伏山地区において、福井県、ふくい農林水産支援センター、福井水源林整備事務所、森林管理署の4者による検討会を実施。
- 大野市長野地区において、国有林と隣接する私有林所有者等(5団体)との協議を実施し、森林整備協定を締結。

成果と今後の課題

- 南越前町鉢伏山地区において、福井県への分収造林地(ふくい農林水産支援センター所管)移管後、事業計画をもとに再検討。
- 大野市長野地区において、今後、協調施業・協調販売に向けた「森林整備等実施計画」を策定。

森林整備協定締結の様子



福井森林管理署

連携機関: 福井県

地域課題: 民有林と連携した路網の整備

取組状況

- 細野^{ほその}国有林において、民有林行政機関、土木事業者等を対象に林業専用道現地検討会を実施。
- 鉢伏山^{はちぶせやま}国有林に隣接する民有林(ふくい農林水産支援センター所管)の林業専用道作設にあたり、国有林の森林作業道への接続箇所について現地立会を実施。

成果と今後の課題

- 林業専用道現地検討会では、関係者への林業専用道整備手法の説明等により、今後の適切な林業専用道整備に貢献。
- 国有林に接続した民有林林業専用道(ふくい農林水産支援センター)が完成。今後、民国で協調した施業等の実施を検討。

林業専用道現地検討会の様子



林業専用道の整備手法を説明する様子



福井森林管理署

連携機関: 福井県

地域課題: 民有林における列状間伐の普及

取組状況

わさだに

- 和佐谷国有林において、民有林行政機関、林業事業者等を対象に列状間伐及び森林作業道に関する現地検討会を実施。

成果

- これまで豪多雪地帯の民有林では、冠雪害の恐れから列状間伐は不向きとされてきたが、今回の現地検討会による列の設定、選木方法などの検証により、今後、民有林での列状間伐の普及に貢献。

列状間伐、森林作業道の現地検討会の様子



三重森林管理署

担当者

森林技術指導官: 中島 富太郎

地域林政調整官: 船坂 浩史

TEL: 050-3160-6110

連携機関: 三重県

地域課題: 造林・保育作業の低コスト化

取組状況

かじやまた

- 鍛冶屋又国有林内へ低コスト育林技術体系の確立を目指した長期固定試験地を設定し、植栽から間伐までの段階における収益性の高い育林体系の確立を目的とした共同試験を三重県林業研究所と実施。
- 平成25年度森林・林業交流発表会において、「鍛冶屋又国有林における下刈コスト低減への取組み」として、3成長期までの経過と結果について、三重県と共同で発表。

成果と今後の課題

- 3成長期経過時点での植栽木の生長差は、植栽時点の苗木の大きさに起因したものと考えられ、引き続き、今後2～3年間の成長結果等の考察を実施。
- 保育コストの低減を図るため、今後、無下刈施業の可否、除伐時期について検討。

試験地の一部の様子



成長調査の様子



三重森林管理署

連携機関: 三重県

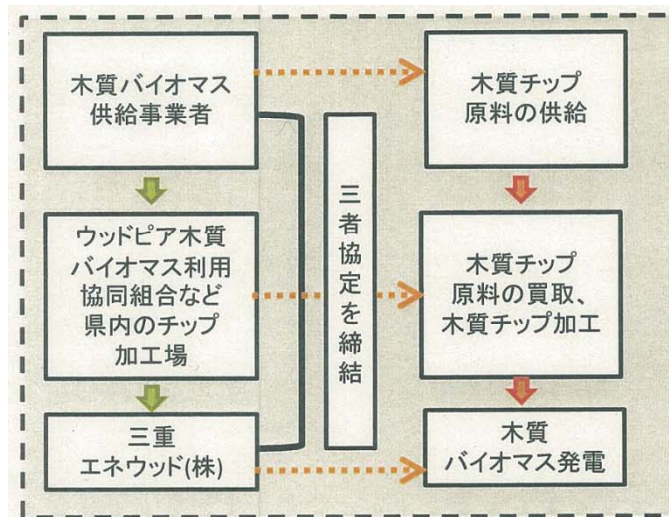
地域課題: 木材の安定供給(木質バイオマス発電)

取組状況

- 三重県木質バイオマスエネルギー利用推進協議会へオブザーバーとして参加。
- 三重県職員と木質バイオマスの供給方法等について意見交換を実施。
- 三重エネウッド協同組合と木質バイオマスの供給方法について情報交換を実施。

成果と今後の課題

- 国有林材の供給について、平成26年度以降の事業の実施予定箇所を踏まえた原木市場の選定、システム販売供給先等を検討。



* 写真はイメージ

三重森林管理署

連携機関: 三重県

地域課題: 連携した災害復旧事業等の実施

取組状況

- 三重県が予定する災害復旧工事箇所の下流域において、鍛冶屋又治山工事(災害復旧)を実施。

成果と今後の課題

- 鍛冶屋又国有林の災害復旧工事(谷止工2基)が完成。
- 三重県が実施する治山工事に必要な鍛冶屋又官行造林地内への作業道作設について、今後、三重県、紀北町、三重森林管理署の3者協議を実施。

鍛冶屋又国有林内の被害状況



谷止工(スリットダム)設置の様子



三重森林管理署

連携機関: 三重県

地域課題: 大杉谷国有林におけるニホンジカ被害対策の検討

取組状況

おおすぎだに

- 大杉谷国有林におけるニホンジカ被害対策に係る検討委員会、現地検討会を開催し、森林被害対策及び個体数管理手法を検討。
- 林野庁補助事業第2回合同会議(群馬県)、東海地域鳥獣対策連絡推進委員会等に参加し、大杉谷国有林のシカ被害対策について報告し、情報交換を実施。

成果と今後の課題

- 検討委員会等において、今年度の対策の実施状況や今後の対応を確認。
- ニホンジカの捕獲について、今後、新たに開発された技術(誘引狙撃法など)を導入し、実証事業として実施。
- 三重県内で開催されたシンポジウムにより、ニホンジカによる森林被害の現状を広く県民等へ周知。

検討委員会の様子



現地検討会の様子



シンポジウムの様子



三重森林管理署

連携機関: 三重県

地域課題: オオダイガハラサンショウウオの保全

取組状況

- 大杉谷国有林において、三重県教育委員会、三重県治山林道課と共同で学習会を開催し、三重県指定天然記念物、(国)絶滅危惧Ⅱ類であるオオダイガハラサンショウウオの生息状況調査を実施。

成果と今後の課題

- オオダイガハラサンショウウオ(幼生)の捕獲・計測を実施し、生息場所・生態について学習。今後、治山工事等の施工にあたって、幼生等の捕獲・移動について検討。

生息状況調査の様子



捕獲したオオダイガハラサンショウウオの様子



三重森林管理署

連携機関: 三重県

地域課題: 准フォレスター活動の推進(市町村森林整備計画策定支援)

取組状況

- 三重県林業普及員企画会議に出席し、准フォレスター活動について意見交換を実施。
- 大台町森林整備計画の作成に向け、三重県(松阪事務所)、大台町職員とゾーニング図面等を活用した地域情報等の情報交換を実施。
- 松阪市森林整備計画の作成に向け、松阪市職員とゾーニング図面等を活用した地域情報等の情報交換を実施。
- 三重県林業普及員活動発表会において、国有林からの情報提供を実施。

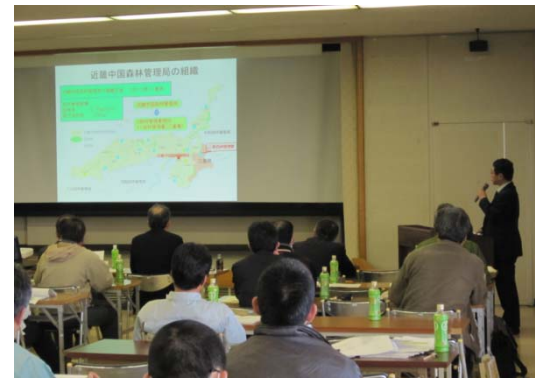
成果と今後の課題

- 市町村森林整備計画策定支援について、引き続き、積極的な市町村への働きかけを実施。
- 三重県林業普及員活動発表会において、国有林からの情報提供を行い、平成26年度における民国連携の取り組みについて、検討内容を報告。
- 今後、県林業普及指導員等との林業専用道の現地検討会を検討。

三重県林業普及員発表会の様子(県普及活動報告)



(国有林からの情報提供)



滋賀森林管理署

担当者

森林技術指導官: 倉石 博
地域林政調整官: 落窪 弘行
TEL: 050-3160-6115

連携機関: 滋賀県、大津市

地域課題: ニホンジカ被害対策

取組状況

- 市街地に近接し、獣害対策への要望が強い大津市と有害鳥獣捕獲対策の拡充について意見交換を実施。
- 国有林内せきでらに閑寺国有林において、くくりわな設置予定箇所せきでらの現地調査を実施。
- において、ニホンジカの被害状況を確認。

成果と今後の課題

- 平成26年度の有害鳥獣捕獲対策に向け、大津市等と連携が図られた。
- 今後、大津市有害鳥獣被害対策協議会に参画し、大津市等と連携した「くくりわな」による捕獲を実施予定。
- 有害鳥獣捕獲予定区域の周辺箇所を含めたシカによる被害状況の確認を継続して実施。

ニホンジカによる立木の剥皮被害の様子



ニホンジカの食害により下層植生がない林分の様子



京都大阪森林管理事務所

担当者
森林技術指導官:植田 修司
TEL:075-414-9822

連携機関:京都府、(独)森林総合研究所森林農地整備センターほか

地域課題:木材の効率的・安定的な供給体制の確立

取組状況

- 民有林と国有林が連携して計画的な森林整備や効率的な路網整備を進めるため、平成22年に京都府や(独)森林総合研究所森林農地整備センター等と協定を締結して「由良川流域における森林共同施業団地」(京都府綾部市・京丹波町)を設定。以降、共同施業団地の関係者による連絡調整会議を開催して情報交換等を行いつつ、間伐や路網整備を実施。
- 国有林で生産した木材は、原木市場への委託販売等を通じて、地域へ計画的に供給。

成果と今後の課題

- これまで国有林内での林業専用道新設1,780m(平成26年2月現在)などの実績は上がっているものの、全体的には必ずしも当初の計画どおり間伐や路網整備が進んでいない状況。今後は、引き続き林業専用道の開設工事を進めるとともに、森林共同施業団地を含む本地域の森林・林業の将来像を検討し、それを実現する手段として本団地における取組を位置づけた上で、その具体的な進め方を見直していくことが必要。
- 京都府が進める「森林・林業経営高度化プラン」等、民有林における木材の効率的・安定的な供給体制の構築に向けた取組に対して、国有林材の供給等を通じた連携のあり方を検討。

森林共同施業団地の連絡調整会議の様子



森林共同施業団地内の林業専用道の新設



販売委託による国有林材の供給



京都大阪森林管理事務所

連携機関: 京都府立林業大学校、京都大学、京都府立大学

地域課題: 林業担い手等人材の育成

取組状況

- 京都大学や京都府立林業大学校の実習フィールドとして国有林を提供するとともに、職員を講師として派遣。
- 京都府立大学と近畿中国森林管理局との間で、森林の有する多面的機能の持続的発揮、資源の有効利用、地域振興に貢献するための調査研究、人材育成等を目的とした取組を連携・協力して進めることについて、協定を締結(平成25年11月)。

成果と今後の課題

- 今後も国有林の持つフィールドや技術を活かして大学等の実習への支援を実施することで、未来の林業の担い手育成に貢献。
- 京都府立大学との協定に基づき、同大学と連携・協力した研究や人材育成の取組を推進。

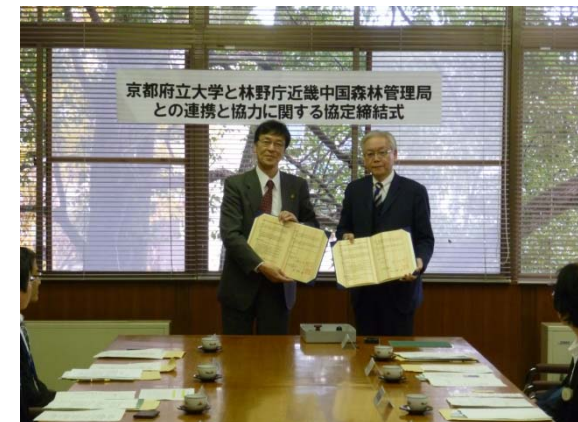
職員による京都府立林業大学校の実習支援



国有林を活用した京都大学の学生実習



京都府立大学との協定締結の様子



京都大阪森林管理事務所

連携機関:京都市ほか

地域課題:有害鳥獣被害対策(ニホンジカの個体数管理等)

取組状況

- 京都市有害鳥獣対策協議会へ参画し、情報共有及び対策の検討を実施。
- 大悲山・貴船山・鞍馬山国有林(京都市)において、くくりわなによるニホンジカ等の捕獲を実施(平成24年度~)。
- シカの動態に対応した防護柵の最適な設置方法について研究を行い、平成25年度森林・林業交流発表会において発表(森林総合研究所関西支所長賞を受賞)。

成果と今後の課題

- ニホンジカによる森林被害は、民有林・国有林を問わず深刻さを増しており、より効果的な捕獲方法を確立していくことが必要。
- 今後も国有林内において自ら捕獲に取り組むとともに、市町村等による国有林内での捕獲事業を推進するため、市町村や地元関係者との協力体制の拡充を検討。

国有林内におけるニホンジカ捕獲の様子



森林・林業交流発表会の様子



京都大阪森林管理事務所

連携機関:大阪府、箕面市、高槻市ほか

地域課題:病虫害対策(北摂地域のナラ枯れ対策)

取組状況

- 民有林と連携した効果的な被害拡大防止対策の実施に向け、国有林における防除事業発注予定等について大阪府や市町村等関係機関へ情報提供するとともに、燻蒸処理の作業仕様について情報交換。
- 大阪府主催の「ナラ枯れ研修会」及び「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」を通して、府内及び国有林の被害の現状を共有するとともに、国有林内で協議会と取り組んでいる新たな被害防除方法の実施状況について情報提供。

成果と今後の課題

- 箕面国有林(箕面市)、安満山国有林(高槻市)、楊梅山国有林(同)において、燻蒸処理による防除事業を引き続き実施。
- 今後、効果的な燻蒸処理方法について作業仕様の検討・活用。

国有林内における燻蒸処理の様子



試行しているナラ枯れ防除用粘着シート(箕面国有林)



研修会の様子(箕面市内)



兵庫森林管理署

担当者

森林技術指導官:柴田 隆文

地域林政調整官:尾川 隆造

TEL:050-3160-6170

連携機関:兵庫県

地域課題:木材需要の拡大

取組状況

- 西播磨地域木材安定協議会へ参画し、関係者と連携して「西播磨地域原木供給プラン」を策定。
- 治山・土木事業の木材利用において、県産材を積極的に活用。
- 国有林野等所在市町長有志協議会等の各種会議において、木材の積極的な利用についてPRを実施。

成果と今後の課題

- 「西播磨地域原木供給プラン」において、地域の森林・林業関係者の、適性かつ計画的な原木生産の目標を設定。
- 兵庫森林管理署における素材の供給実績(H26年度)は、原木市場 約4,000 m^3 、安定供給システム 1,800 m^3 を供給。
- 国有林における治山・土木工事において、まく板型枠等 99 m^3 、木柵等 22 m^3 の木材を使用。

国有林材を市場で販売



木材を積極的に利用した治山工事



国有林野等所在市町長有志協議会を開催



兵庫森林管理署

連携機関: 兵庫県

地域課題: ニホンジカ被害対策

取組状況

- ニホンジカの被害・生息状況を把握するため、簡易生息・被害調査を実施。
ほんたに けいろうざん
- 本谷国有林、鶏籠山国有林に囲い罠を設置し、ニホンジカの捕獲を実施。
- 民地へのニホンジカ出没対策として、鶏籠山国有林へ金柵を700m設置。

成果と今後の課題

- 国有林におけるシカの目撃情報を収集。今後、市町村等と情報共有を図り、有害鳥獣駆除対策を検討。
- 囲い罠によりニホンジカを捕獲し、個体数管理に寄与。今後、餌付け方法等について検討し、更なる捕獲頭数の増加に向け、関係機関と連携。

囲い罠によりニホンジカを捕獲



金柵を設置



兵庫森林管理署

連携機関: 宍粟市ほか

地域課題: 地域林業の再生

取組状況

- 鍋ヶ谷^{なべがだに}国有林において、兵庫県立山崎高校の1、2年生69名を対象に、インターンシップを実施。
- 天児^{てんごや}家国有林を緑の雇用研修フィールドとして提供。
- 森林・林業関係機関の相互の連携・協力により、地域林業の発展と林業振興を目的とした「しそあの森連携協定」を締結。

成果と今後の課題

- 兵庫県立山崎高校の生徒を対象に、国有林のフィールドを活用したインターンシップを毎年実施し、森林・林業分野への関心を高め、卒業時の進路選択に寄与。引き続き、継続した取組を実施。
- 車両系集材機械、架線系集材機械のメンテナンス、安全教育について、国有林のフィールドを活用して緑の雇用就労者のレベルアップを実施。

植付実習



素材生産事業を見学



宍粟市内の7機関により協定を締結



奈良森林管理事務所

担当者

森林技術指導官: 篠原 庄次

TEL: 050-3160-6150

連携機関: 奈良県

地域課題: 林業専用道作設にかかる技術の共有

取組状況

ひのきまた

- 桧股国有林において、奈良県、県内市町村職員を対象とした林業専用道作設に係る現地検討会を実施。
- 桧股森林共同施業団地連絡調整会議を開催し、関係機関による低コスト施業の現地検討会を実施。

成果と今後の課題

- 現地検討会では、路線、工種の選定等について意見交換を実施し、林業専用道の作設指針を共有。
- 森林共同施業団地における集約化、路網作設に係る低コスト化への取り組みに理解が深まった。
- 民有林、国有林の協調出荷に向け、桧股国有林(森林共同施業団地内)において林業専用道を444m作設。

現地検討会の様子



意見交換会の様子



奈良森林管理事務所

連携機関：奈良県

地域課題：民有林直轄治山事業の推進

取組状況

- 平成23年の紀伊半島大水害に係る民有林災害箇所への復旧工事を実施。
- 奈良県五條市、天川村、十津川村内の地域住民へ説明会を実施。

成果と今後の課題

- 奈良県、関係市町村との連携を図りながら、復旧工事を実施。
(直轄治山災害関連緊急事業：18箇所、直轄治山施設災害復旧事業：1箇所)
- 住民説明会において、住民から寄せられた要望や不安の解消を図り、地域の協力、理解が得られた。

災害復旧工事(十津川村野尻地区)の様子



住民説明会の様子(堂平地区)



奈良森林管理事務所

連携機関: 奈良県

地域課題: 病虫害対策(カシノナガキクイムシ被害の拡大防止)

取組状況

- ヘリコプターを使用した^{てらやま}寺山国有林の上空調査を実施。
- 寺山国有林、^{おおかめだに}大亀谷国有林のナラ枯れ被害木について、伐倒処理、伐倒燻蒸処理を実施。

成果と今後の課題

- 国有林、民有林におけるナラ枯れ木の初動調査を実施。
- 国有林内で確認された被害木については、伐倒燻蒸処理等による蔓延防止対策を実施。
- 今後、奈良県等の関係機関との情報の共有を引き続き実施し、被害木処理に係る技術者の養成について検討。

被害木調査の様子



伐倒燻蒸処理の様子



奈良森林管理事務所

連携機関: 奈良県

地域課題: 鳥獣害被害対策(ニホンジカ被害対策)

取組状況

- ニホンジカの被害・生息状況を把握するため、簡易生息・被害調査を実施。
- 市町村と連携した有害鳥獣駆除の実施。
- 春日山原始林保全計画検討委員会へ参画し、奈良市内のシカ被害対策について検討を実施。

成果と今後の課題

- 国有林におけるシカを目撃情報を収集。今後、市町村等と情報共有を図り、有害鳥獣駆除対策を検討。
- 奈良市内におけるニホンジカ被害対策について、今後、防護柵などの設置等による被害防止対策を検討。

春日山原始林保全計画検討委員会の様子



シカによる樹皮の剥皮被害



奈良森林管理事務所

連携機関：奈良県

地域課題：県産材の安定供給を推進するための架線集材・ヘリコプター集材の技術者の育成等

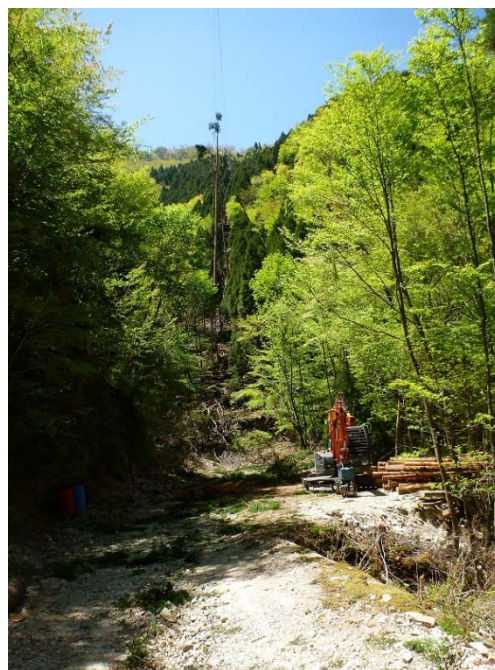
取組状況

- 民有林では、地形条件、林道の配置状況から、架線集材がロングスパンとなるため、ヘリコプター集材を主体として実施しており、国有林においても、事業者が架線集材に加え、一部でヘリコプター集材を実施。
- 民有林で実施する架線集材、ヘリコプター集材について、情報収集を実施。

成果と今後の課題

- ヘリコプター集材は、事業者が個別に実施しているため、集材時期が重複するなど計画的な事業実施に支障をきたしている。今後、安定的、効率的な事業に向けた搬出時期の調整、搬出ロットの拡大、コスト軽減等を検討。
- 路網の整備、架線集材（ヘリ集材）技術者の養成に向け、主伐について検討。

架線集材の様子（白谷山国有林）



ヘリコプター集材の様子（伯母子国有林）



奈良森林管理事務所

連携機関：奈良県

地域課題：公益的機能維持増進協定に向けた取組

取組状況

- 候補地の選定にあたり、市町村森林整備計画について、公益的機能別施業森林の指定情報の収集、森林経営計画の認定状況の把握、民有林GISのデータ収集を実施。
- 高取山^{たかとりやま}国有林、荒神山^{こうしんやま}国有林の現地踏査を実施し、民有林の林分状況について確認。

成果と今後の課題

- 民有林GIS情報の収集により、国有林の隣接相手方の森林の特定が容易にでき、効率的な現地踏査を実施。
- 今後、協定締結に向けた路網の作設を検討。

森林GISデータを利用した踏査の様子



民有林の林分状況



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

担当者

森林技術指導官:萩原 敏郎

地域林政調整官:藪本 博文

TEL:050-3160-6120

地域課題:民有林への低コスト造林の普及

取組状況

にしのこう

- 西ノ河国有林において、民有林行政担当者、林家、種苗組合等を対象に低コスト造林現地検討会を実施。
- 和歌山県低コスト造林技術研究会へ参画し、灌水チューブ苗の植栽試験に参加。

成果と今後の課題

- 低コスト造林のメリット等をPR。実証データを蓄積し、民有林関係者に提示するため、今後、継続したデータの収集・蓄積を実施。
- 和歌山県低コスト造林技術研究会は、植栽データのまとめ・追跡調査を実施。
- 今後、和歌山県低コスト造林技術研究会において、安定的なコンテナ苗の生産に向け、民有林森林所有者への理解・協力の推進及び苗木生産者への設備投資に係る補助等を検討。

低コスト造林現地検討会の様子



低コスト造林技術研究会の様子



和歌山森林管理署

連携機関: 和歌山県

地域課題: 架線集材の低コスト化、作業システムの構築

取組状況

- 経営モデル林を設定し、地形を考慮した作業道作設による集材と架線集材の併用を検討。
- 先進的林業機械緊急実証・普及事業運営委員会へオブザーバーとして参画し、架線技術の継承、低コスト化を検討。また、現地検討会へ参加し、先進的な架線集材機による作業システムの改良について情報を収集。

成果と今後の課題

- 経営モデル林検討会で検討した集材作業システムについて、今後、技術やフィールドの提供を実施。
- 様々な集材作業システムの情報を収集。今後、更に地域にあった低コスト化を検討。

経営モデル林候補地選定の様子



先進的林業機械緊急実証・普及事業現地検討会の様子



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

地域課題:病虫害対策(カシノナガキクイムシによる被害拡大の防止、スギノアカネトラカミキリ被害木の利用促進)

取組状況

- 国有林のナラ枯れ被害状況を把握し、和歌山県との会議等の場において、情報提供を実施。
- 和歌山県主催の「平成25年度和歌山県林業試験場成果発表会」に出席し、スギノアカネトラカミキリ被害材(アカネ材)の利用について情報収集を実施。

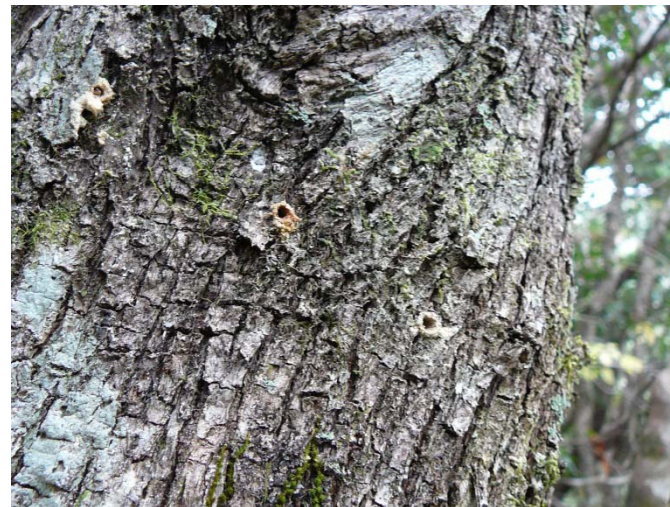
成果と今後の課題

- 被害情報の共有により、民国双方の対応策を確認。国有林については、引き続き、被害状況の把握、情報共有を行うとともに、民有林と連携して拡大防止対策を検討。
- アカネ材の利用促進に向け、引き続き、連携・協力のための情報収集を実施。

カシノナガキクイムシ



カシノナガキクイムシの穿孔の様子



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

地域課題:ニホンジカ被害対策

取組状況

- 国有林内において、ニホンジカの被害状況を確認。
- 西ノ河林木遺伝資源保存林において、シカ防護柵(パッチディフェンス)の設置及びモニタリング調査(植生調査)を実施。

成果と今後の課題

- パッチディフェンスの設置により、シカ被害による森林の下層植生の減少を防止。また、後継樹を含む下層植生の現況を把握し、今後の森林の保全・管理に向けた対策を検討。
- 適正な個体数管理に向け、今後、個体数の把握を検討。

パッチディフェンス設置前



パッチディフェンス設置後



林分の状況



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県

地域課題:林地残材の有効活用

取組状況

- 和歌山県との連絡会議において、林地残材の有効活用について検討を開始。併せて、民有林の架線集材現場において、林地残材の発生状況を確認。
- 林地残材等のバイオマス利用について、生産・販売等の事業者発掘に向けた情報収集を実施。

今後の課題

- 全木集材による事業では、土場敷に集積された末木枝条・端尺の有効活用を検討。
- 林地残材等のバイオマスを活用した事例の収集、情報提供を行い、木質バイオマス施設の設置等について、和歌山県等の関係機関への働きかけを検討。

集造材作業の様子



作業後の様子



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県ほか

地域課題:森林・林業の活性化

取組状況

- 地域林政連絡会議を開催し、民国連携による森林整備事業候補地について検討を実施。

成果と今後の課題

- 作業道、高性能林業機械を組合せた事業の効率化、中間土場への木材の集積及び大ロット輸送、コスト削減による収益増を目的とした「産学官森林経営協働プロジェクト」(県、京都大学、マルカ林業)について、隣接する日光山国有林、津俣国有林との連携を検討。

地域林政連絡会議の様子



津俣国有林の遠景



和歌山森林管理署

連携機関:和歌山県、田辺市

地域課題: 民有林直轄治山事業の推進

取組状況

- 平成23年の紀伊半島大水害に係る民有林災害箇所への復旧工事を実施。
- 和歌山県田辺市の地域住民へ説明会を実施。

成果と今後の課題

- 和歌山県、田辺市と連携を図りながら、復旧工事に着手。(平成24年度補正予算、平成25年度予算:6区域、延べ8箇所)
- 田辺市の協力により、田辺市中辺路行政局内へ紀伊田辺治山事業所を開設。
- 住民説明会において、住民から寄せられた要望や不安の解消を図り、地域の協力、理解が得られた。

災害復旧工事(田辺市本田垣内区域)の様子



開所式の様子



鳥取森林管理署

担当者

森林技術指導官:大石 政弘

地域林政調整官:竹原 正人

TEL:050-3160-6125

連携機関:鳥取県

地域課題:県産材の利用促進(公共建築物・土木事業等への利用、安定供給体制の確立)

取組状況

- 治山・土木事業の木材利用において、県産材の活用を積極的に行った。
- 国有林野等所在市町村長協議会において、関係市町村へ地域材の利用促進について協力依頼を実施。

成果と今後の課題

- 鳥取森林管理署において、平成25年度に、原木市場 約2,400 m^3 、安定供給システム 8,800 m^3 の素材を供給。
- H26年度以降は生産事業の実施予定地を踏まえ、原木市場の選定、システム販売供給先等の拡充を検討。
- 国有林における治山・土木工事において、平成25年度に、168 m^3 (丸太残存式型枠、丸太筋工等)の県産材を使用。
- 鳥取県における市町村木材利用方針の策定状況(平成26年2月28日時点)は89%となっている。引き続き関係市町村へ木材利用の促進について情報発信を実施。

治山工事への県産材利用の様子



国有林野等所在市町村長協議会の様子



国有林材の販売の様子



鳥取森林管理署

連携機関: 鳥取県

地域課題: 病虫害対策(カシノナガキクイムシ被害が県東部から天神川流域まで拡大、局所的に大山町でも発生)

取組状況

- 鳥取県との合同被害調査を実施(ヘリコプターからの上空調査、地上調査)し、大山国有林、^{だいせん} 槇ヶ原国有林^{まきがはら}で確認された被害木について伐倒くん蒸処理を実施。
- 「大山広域ナラ枯れ被害対策協議会」に参画し、取組状況等について情報交換を実施。

成果と今後の課題

- ヘリコプターからの被害調査により、大山国有林までナラ枯れ被害の拡大を確認。
- 国有林において、被害の蔓延防止のために伐倒くん蒸処理を実施。
- 国、県、各市町村等が参画する被害対策協議会では、民国が連携した被害対策に取り組んでおり、国有林内に発生した被害木については、引き続き、伐倒駆除等の対策を実施。

ナラ枯れ被害木伐倒処理の様子



くん蒸処理の様子



鳥取森林管理署

連携機関: 鳥取県・若桜町

地域課題: ニホンジカ個体数管理の実施

取組状況

- 若桜町鳥獣害対策協議会等と連携し、若桜町内の国有林や民有地(休耕田)へ囲い罠を設置し、ニホンジカの捕獲を実施。
おきのやま
- 沖ノ山国有林へ下層植生回復の経過観察のため獣害防止柵を設置。
- 平成25年度森林・林業交流発表会において、「民国連携による地域一体となった鳥獣害対策活動」について若桜町と共同で発表。

成果と今後の課題

- 囲い罠によりニホンジカを捕獲し、個体数管理に寄与。今後、更なる捕獲頭数の増加や餌付け方法、肉や皮等の有効利用などについて、関係機関と連携。
- 近畿中国森林管理局主催の森林・林業交流発表会では、地域連携がとられた成功例の発表として、また、捕獲したシカを地域の食材として利用する地域振興へも寄与している点について高く評価され、日本森林林業振興会会長賞を受賞。

囲い罠を共同で設置する様子



捕獲されたニホンジカの様子



鳥取森林管理署

連携機関: 鳥取県

地域課題: 人工林皆伐再造林の施業体系の検討

取組状況

- 主伐時期の到来に伴う再造林経費や保育経費の削減のため、鳥取県人工林皆伐再造林研究会へ参画し、意見交換を実施。

成果と今後の課題

- 人工林皆伐再造林にかかる当面の課題を確認。
- 今後、作業委員会において、再造林、保育経費の削減、並材生産に適した保育の施業体系が作成され、研究会において検討。

島根森林管理署

担当者

森林技術指導官: 高見 尚志
 地域林政調整官: 大田 勝也
 TEL: 050-3160-6130

連携機関: 島根県

地域課題: 森林共同施業団地における民国連携の一層の推進

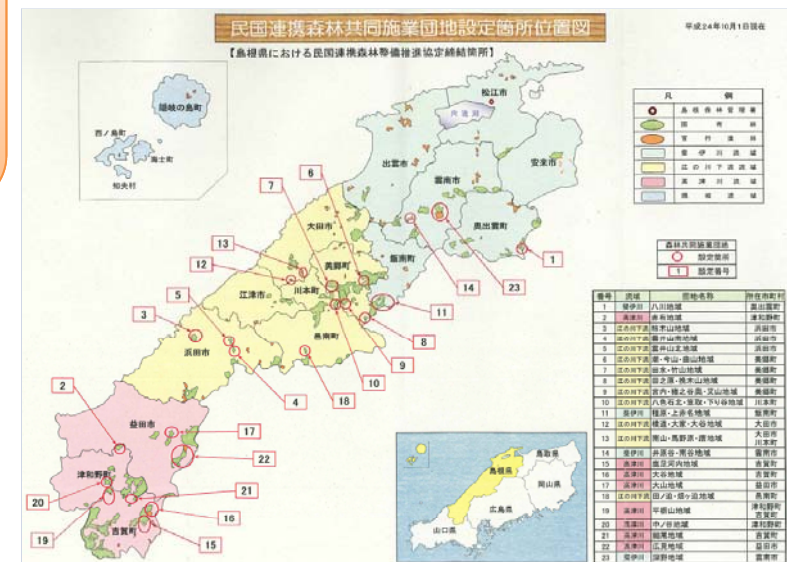
取組状況

- 民国連携運営協議会を開催し、協定箇所23団地について、事業計画の実施状況及び実施予定について確認。
- 各流域ごとに定められた地域森林計画期間と各団地のそれぞれの事業計画期間との整合を図るため、事前準備として新たな機能類型による小班の区分けを整理。
- 民国連携ソフト事業として、現地検討会(林業専用道及びピコンテナ苗)を開催。

成果と今後の課題

- 協定箇所における事業計画、相互連携に係る課題を把握。
- 協定箇所23団地のうち18団地について、今後、事業計画の見直し等を検討。また、18団地のうち各流域1団地を重点取組団地とし、平成26年度から共同施業等の実現に向けた協定相手方との調整、民国連携による施業の一層の推進に向け検討。

森林共同施業団地設定箇所位置図



民国連携運営協議会の様子



現地検討会(林業専用道)の様子



島根森林管理署

連携機関: 島根県

地域課題: 森林GISへのデータ投入(森林共同施業団地における計画・実績データ等)

取組状況

- 各機関から図面等の提供を受け、島根県森林GISへデータの投入を実施。(平成26年6月完成予定)
- 国有林での森林整備事業等の作業履歴について、森林GISへデータの投入を実施。

今後の課題

- 今後、森林GISを活用した路網整備、事業計画等について検討。

島根森林管理署

連携機関: 島根県

地域課題: 鳥獣被害の未然防止

取組状況

- ニホンジカによる被害は広島県から島根県境付近まで拡大してきており、島根県内への被害を未然に防止するため、県境付近のシカ生息状況等について情報の収集・共有を実施。
- 中四国農政局主催の「中国地域鳥獣対策検現地討会会議」に参加し、鳥獣被害対策等にかかる情報収集を実施。

今後の課題

- 鳥獣被害の未然防止に向けた、各機関で協調した情報収集と水際対策の実施。

岡山森林管理署

担当者

森林技術指導官:元清水 孝司

地域林政調整官:甲元 敏夫

TEL:050-3160-6135

連携機関:岡山県(美作県民局)

地域課題:共通図面の作成

取組状況

- 市町村森林整備計画や民国連携に向けた事業計画の策定に向け、各市町村から路網整備情報を収集し、地形図(25,000分の1)に国有林と市町村の路網データを反映した共通図面を作成。

今後の課題

- 今後、岡山県内全域の共通図面の作成に向けた市町村の路網整備情報の収集等を実施。
- 共通図面をもとに、今後、路網整備、事業計画について検討。

作成図面の一部



岡山森林管理署

連携機関:岡山県(美作県民局)ほか

地域課題: 民有林における路網整備の促進(新たな森林共同施業団地の設定)

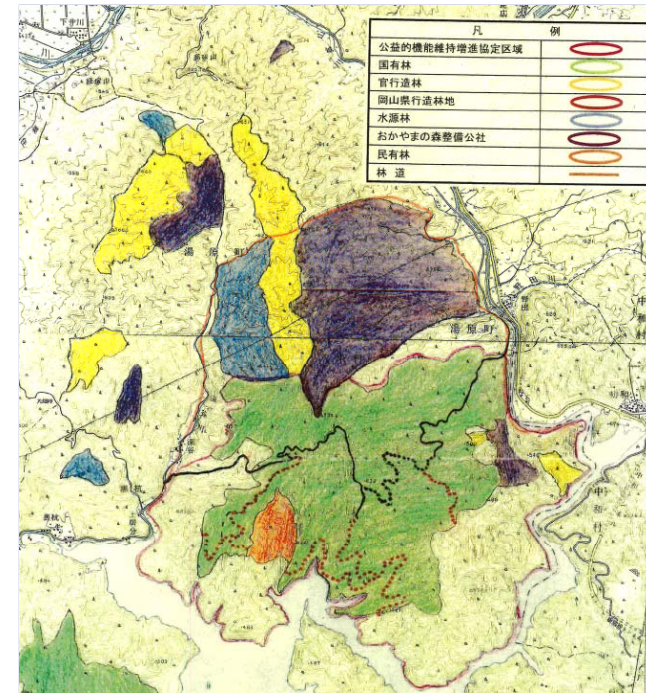
取組状況

- 「真庭市湯原湖北部地域における森林施業に関する意見交換会(民国連携準備会)」を開催し、当該区域で民有林と国有林が連携した森林整備の推進に向けた検討を実施。
- 真庭市湯原湖北部地域森林整備等推進協定を締結し、真庭市役所において記念式を開催。
- 効率的な路網整備及び森林整備計画の策定に向けた運営会議を開催し、森林整備等実施計画を策定。

成果と今後の課題

- 森林整備等推進協定の調印式を開催し、民国連携の新たな第一歩として、新聞、テレビ等の報道機関により広くPRを実施。
- 民国連携森林共同施業団地の運営に係る具体的な目標に向け、今後、各種取組を実施。

森林整備協定箇所の図面



締結記念式の様子



運営会議の様子



岡山森林管理署

連携機関:岡山県(美作県民局)ほか

地域課題:低コスト高効率作業システム等の普及

取組状況

すいしようやま

- 水昌山国有林外において、近畿中国森林管理局、森林技術・支援センター、森林総合研究所関西支所が連携し、民有林関係者を対象とした「列状間伐推進のための現地検討会」を開催。
- 民有林主催の「間伐推進検討会」へ参加し、モデル団地の見学と意見交換を実施。

成果と今後の課題

- 現地検討会、間伐推進検討会により、間伐手法に対する民有林関係者からの意見聴取を実施。
- 民有林関係者からの意見等をもとに、今後、低コスト高効率作業システムの一層の改良、林地残材の搬出による木材の多段階利用や造林(地拵)コストの低減に向けた取組を実施。

列状間伐推進のための現地検討会の様子



間伐推進検討会の様子



広島北部森林管理署

担当者

森林技術指導官:伊藤 正博

TEL:050-3160-6100

連携機関:広島県等

地域課題:林業事業体等の育成強化

取組状況

- 広島森林管理署と合同で、広島県等と地域林政連絡会議を3回開催し、県内の林業事業体等の育成強化に向けて検討を実施。
- 林業事業体等が年間事業の計画、選択を容易にするため、発注見通しを早期に公表し、変更分についてはその都度修正のうえ公表。
- 年度当初の発注見通しに沿った事業の発注に向け、進行管理を徹底。
- 広島県が実施する「森林作業道現地検討会」において、森林作業道づくりに係る情報収集を実施。また、国有林が作設する森林作業道の取組状況を紹介。

成果と今後の課題

- 平成25年度に予定した事業については、概ね発注見通しどおり発注・契約を実施し、事業体の育成と地域材の安定供給等に貢献。
- 引き続き地域林政連絡会議において、林業請負事業体等が年間事業の計画、選択が行いやすい仕組みづくりに向け、県内の発注情報の共有化に向けて検討。

地域林政連絡会議の様子



森林作業道現地検討会の様子



広島北部森林管理署

連携機関: 広島県等

地域課題: 低コスト林業の推進(一貫作業システムの検証)

取組状況

おおづちやま

- 大土山国有林において、一貫作業システム(伐採から植栽までの事業を一括発注)による低コスト林業を実施。
- 平成25年度森林・林業交流発表会において、「低コスト林業への取組」を発表。
- 取組成果について、広島北部森林管理署のホームページ等により情報発信。

成果と今後の課題

- 従来の森林施業と比較して1haあたり約12万円植付コストを削減。
- 低コスト林業の定着を図るため、今後、生育状況の経過観察、下刈等の保育作業について検討。
- 近畿中国森林管理局主催の森林・林業交流発表会において、一貫作業システムという新たな取り組みについてトータルコストの削減が高く評価され、近畿中国森林管理局長賞を受賞。

木材搬出の様子



木質バイオマス利用のため枝条を搬出



搬出後の植付作業の様子



広島森林管理署

担当者

森林技術指導官:石井 勝彦

地域林政調整官:田中 佳晴

TEL:050-3160-6145

連携機関:広島県等

地域課題:林業事業体等の育成強化

取組状況

- 広島北部森林管理署と合同で、広島県等と地域林政連絡会議を3回開催し、県内の林業事業体等の育成強化に向けて検討を実施。
- 林業事業体等が年間事業の計画、選択を容易にするため、発注見通しを早期に公表し、変更分についてはその都度修正のうえ公表。
- 年度当初の発注見通しに沿った事業の発注に向け、進行管理を徹底。

成果と今後の課題

- 今後、各関係機関と事業体等の事業進捗状況等について協議し、発注時期等を検討。
- 今後、素材生産にかかる林業事業体等の機械化、現場技能者の育成、労働力確保等に向けた基盤強化について検討。

地域林政連絡会議(第1回)の様子



地域林政連絡会議(第2回)の様子



広島森林管理署

連携機関: 広島県

地域課題: 林業専用道の技術開発

取組状況

おおづみやま

- 大積山国有林内において、鉄鋼スラグを活用した軟弱路体の改良、維持管理等のコスト削減に向けた取組を実施。
- 地域林政連絡会議メンバー等を対象に、鉄鋼スラグを用いた工法の現地検討会を開催。
- 平成25年度森林・林業交流発表会において、林道等の鉄鋼スラグを活用した路盤改良について発表。

成果と今後の課題

- 近畿中国森林管理局主催の森林・林業交流発表会では、簡易でありながら耐久性のある路網の作設へ鉄鋼スラグを活用した取組が高く評価され、日本森林技術協会理事長賞を受賞。
- 今後、経過観察のうえ維持管理に係るコスト削減を実証し、成果の発表、検討会の開催を実施。

鉄鋼スラグ路盤工作設(転圧作業)の様子



現地検討会の様子



山口森林管理事務所

担当者

森林技術指導官:堂 理一郎

TEL:050-3160-6156

連携機関:山口県

地域課題:コンテナ苗による低コスト造林の普及

取組状況

- 山口県美祢^{みね}市内のコンテナ苗生産現場において、品質、生産体制を確認。
- 山口県との連絡会議において、国有林で使用するコンテナ苗の規格等について情報提供を実施。

成果と今後の課題

- コンテナ苗の生産体制は整備されてきており、平成26年度は、スギのコンテナ苗2,000本について、国有林での利用を検討。

地域林政連絡会議の様子



コンテナ苗の品質確認の様子

